

## 令和4年度第1回多摩市公契約審議会 要点録

### 1 開催日時及び会場

令和4年5月27日（金） 午後3時00分から 西第2・3会議室

### 2 出席者（5名）

出席者 古川会長、萩生田副会長、脇田委員、佐々木委員、寺澤委員  
事務局 藤浪総務部長、櫻田総務契約課長、山田契約係長 佐藤主事

### 3 会長・副会長選任

多摩市公契約条例施行規則に基づき、会長を古川委員、副会長を萩生田委員に選任した。

### 4 議題

#### （1）審議事項

##### ①多摩市公契約審議会への諮問（令和5年度労務報酬下限額等）について

\*事務局が資料2にて内容説明。

##### ○意見等

・特になし。

##### ○審議結果

・資料2の諮問を受けて令和4年度も検討を行っていく。

##### ②公契約条例施行後の実施状況の検証について（アンケート集計結果）

\*事務局が資料3にて内容説明。

##### ○意見等

委員 アンケート全体を見ると受注業者に関しては、公契約条例が浸透してきていると感じる。

会長 公契約条例の適用を60歳以上も広げるかどうかは、今年度も最重要課題になる。近年社会情勢も変わっていて踏み込んだ検討が必要になる。

建設業の高齢者雇用の現状はどうか。

委員 60歳以上でも技術があり、多くの労働者が働いている。経験が少ない者への技術の継承など役割が大きい。そのような現状を鑑みると、公契約条例の60歳以上の適用も検討する必要があると感じる。

会長 条例制定当初は台帳自体の作成自体がわからなかったり煩わしかった部分があったが事業者に着してきたこともあり、台帳の見直しも必要がなくなってきたのではないかと。

委員 条例制定当初から事業者の意見を聞き、台帳の変更をしているので、その結果でもあるのではないかと。

○審議結果

- ・ 次回のアンケート実施について、今回出た意見を踏まえて検討していく。
- ・ アンケート結果・意見等も踏まえ、次回以降議論していく。

③令和3年度における課題の検討状況と令和4年度以降の検討の方向性

\* 事務局が資料4にて内容説明。

○意見等

委員 全国的に材料費の高騰もあり、不調が多くなっているが、多摩市の工事契約では影響がでているか。

事務局 工事に直接影響がでているかはまだ検証していないため判断がつかないが、納期が間に合わない等の理由で、物品購入では影響が出てきている。

○審議結果

- ・ 資料4のとおり、検討が必要な項目について、引き続き議論していく。

④令和4年度の労務報酬下限額等について

\* 事務局が資料5・6・7にて内容説明。

○意見等

会長 資料6に示されている他自治体の公契約条例制定の一覧だが、「世田谷区」と「新宿区」の2自治体については、条例自体に強制力が無く行政指導の目安のため、他の自治体と並列では比べられない。

委員 公契約条例について、他自体との意見交換などはしているのか。

事務局 他自治体の公表している情報を確認したり、アンケート調査の結果を参考にしている。公契約条例の先進市というところで、コロナ禍前は他自治体・議員が多摩市への視察することも多かった。

委員 公契約条例に関しては、多摩市は進んでおり、良い運用ができているため、もっとアピールしていくのも必要ではないか。

○審議結果

2回目以降は資料5・6・7に基に議論を行っていく。

(2) 報告事項

①令和4年度公契約対象案件の状況について

\* 事務局が資料8にて内容説明。

○意見等

- ・公契約対象案件に関する意見なし

## ②令和4年度公契約審議会関係スケジュール

\*事務局が資料9にて内容説明。

### ○意見等

- ・最低賃金が定まった後でないと議論できない部分があるので、第3回の審議会の開催は、事務局案のとおり、8月下旬の開催が妥当である。

## ③その他

### ○意見等

特になし

## 5 閉会